

運 営 推 進 会 議 報 告 書

開催日時		令和 7 年 3 月 19 日（水）		14：00～14：30	
参加者		議 題			
利用者	1 名	・ デイサービス事業報告 ・ 非常時災害や緊急時の対策 ・ 職場体験受け入れについて ・ 症例紹介 ・ ヒヤリハット報告			
学職経験者	1 名				
市職員	1 名				
地域包括支援センター	2 名				
民生委員	1 名				
事業所	1 名				
会議録					
1. 運営状況報告					
登録者数：令和 7 年 3 月時点の利用者数・介護度別					
利用者合計：108 名					
介護度：介護 1（30 名）、介護 2（14 名）、介護 3（2 名）、介護 4（2 名）、介護 5（0 名）					
支援 1（15 名）、支援 2（23 名）、事業対象者（22 名）					
従業員数：管理者 1 名、生活相談員 2 名、看護師 1 名、理学療法士 1 名、介護士 4 名、ドライバー 1 名					
※理学療法士が常駐しており、身体機能のみならず日常生活における様々な問題に対してリハビリを行っております。					
2. 非常時災害や緊急時の対策について					
年に 2 回、避難訓練を行っており、昨年 10 月には火災を想定した避難訓練を実施しました。次回は 4 月に地震を想定した避難訓練を実施予定。					
3. 職場体験受け入れについて					
昨年に引き続き、今年も 11 月に品野中学校 2 年生の職場体験の受け入れを行い、介護・理学療法士・ケアマネ業務について学んでいただきました。					
ご利用様が若い世代の方と交流を持って頂く事はもちろん、中学生の方にも利用者様と交流を持って頂き、介護の仕事を学んでいただけたらと思います。					

4. 症例紹介

2 症例について利用者様の状況をお話させていただきました。

5. ヒヤリハット報告

起きた後の事故へつながらないための防止策

(デイサービス到着時) お迎え時にご家族より内服薬の依頼をされる。内服薬確認すると、朝食・夕食後の内服薬を持参される。デイサービスでの内服は初めてで、午前午後を一緒に内服しているかの確認も出来ていないまま内服してしまう事があった。	対応策 内服薬の二重服薬による体調不良、血圧の低下の可能性があるため、内服薬を持参された場合は個人ファイルにて薬情報の確認を行う。不明の場合は必ず家族に確認を行う。管理者や相談員にも情報共有を行う。
(デイサービスフロア内) 体力測定で使用する、三角コーンが置きっぱなしになり、背を向けていた利用者様が方向転換し移動しようとした際に引っかかりふらつき転倒しそうになる。	対応策 必要時以外は置きっぱなしにしないで、すぐに片付ける。利用者様移動の際には三角コーンをしないように、体力測定時の時間帯を考え変更をする。
歩行訓練時 両手杖を使用されている利用者様が運動終了後トイレに行こうと、2・3 歩進んだ際に左手の杖が滑り転倒しそうになられる。ご本人様からは以前より左の杖が滑る事があるとお聞きする。	対応策 理学療法士に杖の裏のゴムの確認をしてもらう。また正しく杖を使用していただけるようにご本人様に話をする。定期的に福祉用具の確認や、本人様からの聞き取りを行う。移動時は近位見守りの利用者様だった為、近位での見守りを継続していく。

ご意見・ご質問

(瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課)

- ・介護報酬改定に伴う、委員会の設置等を行っていますか？

→高齢者虐待についてと感染症についての委員会を設置しており、委員会の開催と議事録の作成を行っています。

(民生委員)

- ・地域とのパイプ役を行うにあたり、どういった方にはどのようなデイサービスを勧めればいいのかといったことを悩むことがあります。こういった方にはこうといったマニュアル等があれば地域と介護をつなげやすいと思います。

→専門で業務を行っていない地域の方は確かにどのデイサービスにどういった特色があるかを把握することは難しいと思います。市役所のホームページで各事業所の特徴等は掲載してあることを伝えた。

→包括の方より：その方がどういった趣味や興味のある事柄、生活で困っていることをざっくりとでも聞いていただいて、あとは地域包括支援センターに振ってもらって大丈夫です。

(地域包括支援センターしなの)

- ・利用者様の杖の選定等で、理学療法士の方や生活相談員の方に相談させてもらっています。

→福祉用具の選定や提案は理学療法士が身体機能や生活状況を把握したうえで、提案させていただいています。

(理学療法士・学識経験者)

- ・介護度的に軽い方が品野店には多く、転倒についてフォーカスしてもよいかもしれません。転倒についてしっかりと意識づけできる環境は大切だと思います。地域での転倒予防教室等も開催してみても面白いかもしれません。

(利用者様)

- ・8年通わせてもらっています。膝と腰が痛いですが、スタッフの皆さんが親身になって話を聞いてくださって楽しく通えています。スタッフの方々がよく気配りできていて安心して過ごせています。体操や運動もよく考えられていてがんばって続けられます。

ご協力ありがとうございました。